

資本論

まず、流石にレンガさんがオススメするだけあって
ゾクゾクするほどに読み応えのある本でした。

具体的に言うと、陳腐な表現ですが

「歴史は繰り返す」という事を改めて思い知りました。

以下、具体的に記述していきます。

冒頭の方で、ロイのお父さんがゴードンに搾取された挙句、
病気を患い死んでしまいます。

現代の日本においては、流石に少ないですが

職に困って斡旋業者に騙されて福島などで

原発作業に従事する作業員の人たちがいずれ同じ運命を
辿ってしまうでしょう。

P 7 1で、ロイの説明を聞いて工場働くことを志願する元農民
の様子が正に現代で言うところの原発労働者そのものの様な感じがします。

また、P 5 3のロイのパン工場働こうと志願する人たちの

言い分が、これだけ価値観の多様化が進んだと言われる現代においても

モロに今の日本の労働者の間でも見られるのと一緒なのは
正直に言ってヒキました。

人間の、いや労働者の心理までも変わっていないのかと思い

歴史だけでなく、人間の心理までも繰り返すのかと思うと

複雑な気持ちでした。

また、P 165からオスカーが説明する相対的剰余価値の増加による搾取から相対的剰余価値の増加による搾取へと変わっていくのは、そのまんま、ここ数十年の日本と一緒にです。

資本家たちは、高度経済成長を遂げて、さらには情報化社会の到来により庶民が低廉な価格で豊かな文明を享受できるようになったにも関わらず今までと同じ時間、あるいはサービス残業などにより労働させて搾取していきました。

また、スーパーマーケットの誕生は20世紀に入ってからのものであって発祥はアメリカであることから、この資本論の時代考証には疑問符が付きますが、そこはフィクションなのでスルーしておきますがスーパーの件についても現代でも同様のことが起きています。

イオンなどの大型スーパーができることにより、あるいはスーパー以外の大型の工場などが出来ることにより、商品、労働力、住居などの移転が起こったりする現象は、平成において地方都市や郊外都市などでよく見られました。

私なりにこういった歴史が繰り返すアンサーを探してみると作品中に二つ見つけられました。

ページ順に言うと、まずP 83からのロイの言い分です。

簡略すると

「法律に則って仕事しているのだから、悪いのは世の中さ」

という事。

しかし、真理は二つ目のアンサーの方だと思えます。

P 2 0 3からのロイによる、「愚民どもだよ」の言葉に続く
ロイタウン崩壊の犯人についての彼の解釈です。

けだし名言ですし、これこそが資本主義社会がこれだけ長きに渡って
反映する理由です。

さらに、日本において資本主義がこれだけ浸透しているのは
義務教育という制度による日本国民の愚民化政策（洗脳）です。

決まった時間に起きて決まった時間に学校に行き、先生という目上の人の
いう事を聞いて勉強をして、学校という組織で過ごす。

教育そのものではなく、こういった枠組みの中で過ごすことを
当たり前の感覚にすることによって社会に出てからも
従順な企業の労働者となるように仕向けられているのです。

昔誰かが、

「国家の行う教育には必ず洗脳が組み込まれている」
と言っていたのを覚えています、其の通りだと思えます。

何においても、胴元が儲かるようにできているのが世の中の
システムですが、最大の胴元は「日本」という国家そのものです。

さらに言うと、日本の胴元は第二次世界大戦後G H Q 占領下に日本に義務教育制度を導入
させ

財閥解体や自由経済の促進、労働組合結成促進、農地開放、社会インフラの整備などを
推し進めることにより経済発展させ、事実上の植民地としたアメリカ合衆国（世界の胴
元）です。

しかし、現代においてはレンガさんのおっしゃる「オウンドメディア」を
個人が持つことにより、限りなくリスクを減らして胴元になる事が出来ます。

そして、これからは貨幣経済ではなく、信用経済へと移行していくので
「信用のあるオウンドメディア」を持っていたら最強ですよ。

さらに言うなら、今後AIなどの発達により、
労働時間が減りヒマな時間を持つ余す人が現れていくので
「面白メディア」、「ヒマつぶしメディア」の需要は高まるでしょう。

リモートワークやコロナ休業によりもうすでにその兆候は世の中に現れていて
地元の書店では以前よりも明かに日中の客入りが増えています。

暇を持つ余ったそういった層の人たちがレンタルビデオを借りていたり
本を立ち読みしてたりしています。

今後、5Gが導入されると動画全盛の時代になり、暇つぶしの中心は
Youtubeなどの動画になっていくでしょうけれど、私はYoutuberになろう
という気にはなれません。

動画作成や動画編集自体は簡単でも、コンテンツ力では
すでにYoutubeに参入してきているテレビなどのマスメディアに
勝てないからです。

また、ブランド力でも芸能人Youtuberに勝てませんし
一般人の間でも今後競争が激化するからです。

島田伸介さんが「伸竜の研究」で言っていた
「勝てない場所には行かない」です。

それに、「人の行く裏に道あり、花の山。いずれを行くも散らぬ間に行け」
という投資の格言通りで、皆がこぞってYoutubeをはじめとする動画に
注目するときに動画で食っていく事には魅力を感じません。

こういう時に、何の考えや戦略も持たずにYoutubeに参入して稼ごうとすること自体が
「愚民」ですし、5Gブームに乗ることも視座が低いと思います。

集客のための媒体として利用するならアリですが。

色々と偉そうなことを言ってしまいましたが、私も剰余価値については知らなかったです
し

結論としては「無知は悪」だと思います。

以上が私の「資本論」を読んでの感想にあります。

資本家の考えていることや手口について非常に勉強になりました。

レンガさん、とても良い勉強の機会を与えて頂きありがとうございました。

